

せんのかげ



Shadow of Line

内納耀平 (Yohei Uchino)

建築領域 修士課程 2 年

椿野成身 (Narumi Tsubakino)

ペインティング領域 修士課程 2 年

京都造形芸術大学未来館 F201

2019/7/5 (Fri) - 7/18 (Thu)

10:00 - 19:00

せんのかげ

2019/7/5 (Fri) - 7/18(Thu) 京都造形芸術大学未来館 F201

10:00 ~ 19:00

本展覧会は建築と絵画を横断する第二弾の展覧会である。

言葉のない手紙のような形で作品をやり取りし制作した前回の展覧会から、今回は絵画を制作する場所で同時進行的に空間も作るという試みである。

タイトルは せんのかげ Shadow of Line

せん それは平面に描かれた糸のように細長いすじのことで、建築においては図面、絵画においてはドローイング手法の一つである。

かげ は立体空間でしか生まれないものであり、人間はこのかげの存在を認知して奥行きを感じる。

せんのかげ というものは二次元のせんから三次元空間にしか存在し得ないかげが生まれるという不思議な言葉である。

しかし私たちが探し求めている建築と絵画の境界はこのような現象の出来事のような気がしている。

即興的、同時に生まれていった空間の中で、時間の流れによって変化するかげを感じながらこの展覧会を味わっていただければと思う。



内納 耀平 Yohei Uchino

経歴

1995 福岡県生まれ

2014 京都造形芸術大学 環境デザイン学科
建築・インテリア・ランドスケープコース入学

2018 京都造形芸術大学 環境デザイン学科
建築・インテリア・ランドスケープコース卒業

2018 京都造形芸術大学大学院 建築領域
修士課程 入学

展覧会

2016 tonica 北九州建築展 2016 出展

2016 NEXTA' 16 出展

2017 NEXTA' 17 出展 (竹鼻良文賞受賞)

2018 Diploma×Kyoto 2018 出展

建築空間を表現する図面、模型、写真などには、実空間でしか体験できない空間経験というものには存在しないが、私たちは頭の中でその空間を想像し考えることができる。あらゆる視覚的情報が溢れる時代において見えるものだけが本当に真実なのだろうか。本来私たちが持っている見えないものを感じとる感覚を通して、自分自身が感じ取った情報にこそ価値があると考え、建築の新たなノーターションを考えている。



椿野 成身 Narumi Tsubakino

経歴

1995 大阪府生まれ

2014 京都造形芸術大学 美術工芸学科
油画コース 入学

2018 京都造形芸術大学 美術工芸学科
油画コース 卒業

2018 京都造形芸術大学大学院 ペインティング領域
修士課程 入学

展覧会

2017 the painting 偶然の夢想的ボーイズ / 形態の有限性パレード 京都造形芸術大学

2018 「シュレディンガーの猫」 主催：京都造形芸術大学 東京都美術館

2018 HOP 2018 大学院修士 1 年生作品展

私たちがメディア上で経験、体験しているリアリティ、それは絶対的なものではない。実際には、私たちの足元から地続きで空間として繋がっている。その絶対的ではないリアリティを、ドローイングに繰り返し描いている。ドローイングとして起こしていく中で見えてくる何か。見えそうで見えてこない何か。見えない何かがある。しかしながら、確かに空間や構造はそこに存在している。

京都造形芸術大学 未来館 F201

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

市バス 5 系統「上終町」京都造形芸術大学前」下車すぐ

叡山電鉄「茶山駅」より徒歩 10 分

